

仕様

サイズ	0.36 タイプ	0.48 タイプ	0.60 タイプ
実容量	0.36L	0.48L	0.60L
保温 効力	1 時間 85 度以上	86 度以上	87 度以上
6 時間	62 度以上	67 度以上	71 度以上
保冷効力 (6 時間)	9 度以下	8 度以下	7 度以下
外形寸法*	幅 6.6×奥行 7.2×高さ 17.6cm	幅 6.6×奥行 7.2×高さ 21.8cm	幅 6.6×奥行 7.2×高さ 26.0cm
質量*	0.17kg	0.19kg	0.23kg

* おおよその数値です。

※保温効力とは、室温20度±2度において製品に熱湯を満たし、縦置きにした状態で湯温が95度±1度のときから1時間および6時間放置した場合におけるその湯の温度です。

※保冷効力とは、室温20度±2度において製品に冷水を満たし、縦置きにした状態で水温が4度±1度のときから6時間放置した場合におけるその水の温度です。

※実容量とは、製品付属のせんをしたときに、実際に入る容量です。「安全上のご注意」に記載している「少なめ容量」ではありません。

消耗品・別売品のお買い求めについて

せんは消耗品です。(熱や蒸気にふれるため、ご使用にともない傷んでくる場合があります。)

1 年を目安にご確認ください。

汚れが目立ってきたり、ゆるくなってきたら、以下のいずれかでお買い求めの上、交換してください。

●お買い上げの販売店

●消耗品・別売品のご購入専用ホームページ

<https://www.tiger-shop.jp>

消耗品・別売品の保有期間は、製造打ち切り後10年です。

お問い合わせについて

品質管理には細心の注意をはらっておりますが、万一製品が不具合なときは、P.10 をご覧になりお調べください。それでも不具合のある場合は、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口へ次のことをお知らせの上、ご相談ください。

①製品名②品番(本体底面シールに表示)

③製品の状況(できるだけ詳しく)④購入日

ご購入いただける消耗品・別売品



また、製品に関するご質問などもお気軽にお問い合わせください。

※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために一部予告なく変更することがあります。

TIGER

品番
MMJ-A型

家庭用

ステンレスミニボトル
サハラマグ

SAHARA MUG

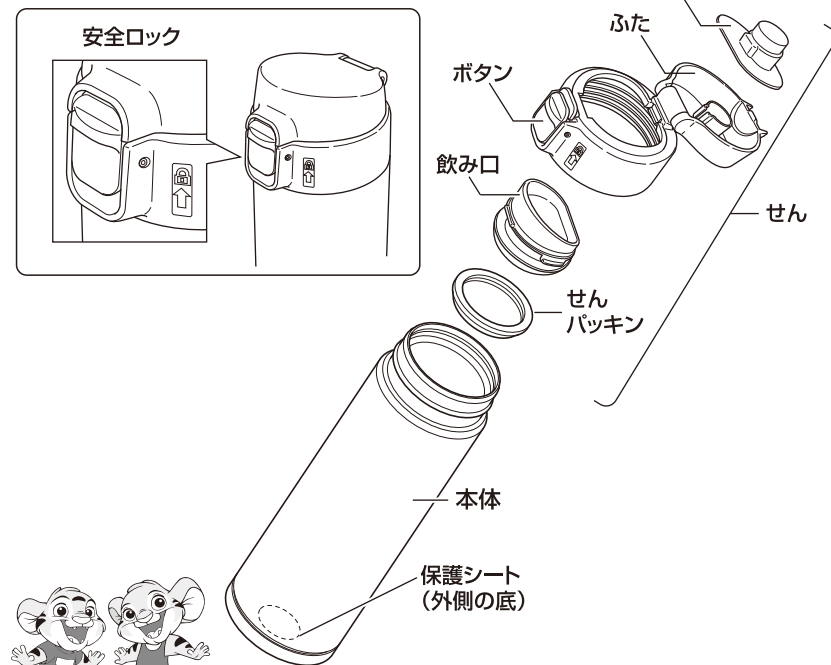
取扱説明書

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読み

ください。お読みになった後は、お使いになる方がいつ

でも見られるところに必ず保管してください。



※ご使用前に各部品がそろっていることを確認してください。

連絡先 タイガー魔法瓶株式会社

本社 〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

使いかた・修理のご相談 お客様ご相談窓口

ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-011101

※ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ

◎ 有料でご案内させていただいております。

TEL(06)6906-2121

●受付時間 AM9:00~PM5:00 月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除きます)

消耗品・別売品のご購入サイト

<https://www.tiger-shop.jp>



ホームページアドレス <https://www.tiger-corporation.com>

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。

安全上のご注意

必ずお守りください。

- ◆ お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- ◆ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、以下の区分で説明しています。

警告 死亡や重傷を負うことが想定される内容です。

注意 傷害を負うことが想定される、または物的損害の発生が想定される内容です。

図記号の説明

禁止 してはいけない「禁止」内容です。

注意 実行しなければならない「指示」内容です。

警告

禁止 乳幼児の手の届くところには置かない。また、いたずらに注意する。
やけどやけがなどのおそれ。



注意

禁止 ドライアイス・炭酸飲料などは絶対に入れない。
本体の内圧が上がったり、せんやふたがあかなかったり、内容物が吹き出たり、部品が破損して、飛散する可能性があります。危険。

必ず実施 せんは確実に閉まっていることを確認する。
内容物がもれて、やけどやものを汚す原因。

禁止 牛乳・乳飲料・果汁などは入れない。
腐敗・変質の原因。また、そのまま長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生して本体の内圧が上がったり、せんやふたがあかなかったり、内容物が吹き出たり、部品が破損して、飛散する可能性があります。危険。

本体に貼ってあるご注意に関するシールは、はがさないでください。

注意

禁止 肩部分にヤカンなどの注ぐ容器をあてない。
転倒して、やけど・けが・傷や変形のおそれ。



禁止 コンロやストーブなど、火気のそばには近づけない。
やけど・変形・変色の原因。

禁止 電子レンジで加熱しない。
火花が飛んで、けが・故障の原因。

禁止 熱い飲み物を入れたときは、傾けた状態や顔などを近づけた状態でせんのふたを開けない。
本体の内圧が上がったり、飲み物が急激に出たり、飛散したりして、やけどなどのおそれ。

必ず実施 熱い飲み物を飲むときは、本体を急に傾けないように注意して、ゆっくりと飲む。
急に傾けると、飲み物が急激に出て、やけどなどのおそれ。

禁止 自動車走行中は使わない。
やけど・車内や衣服を汚す原因。
(また運転者の場合、運転への注意が散漫となり、非常に危険です。)

必ず実施 飲み物の量は、図の位置までにする。
入れすぎると、もれたり、あふれたり、やけどのおそれ。



禁止 保温性能が低下したときは使用しない。
熱いものを入れると本体が熱くなり、やけどなどのおそれ。

禁止 飲み口をはずしたままで使わない。
内容物がもれてやけどの原因。

缶ホルダーを使うとき

必ず実施 缶ホルダーを使うときは、あらかじめ強度を確認してから使う。
強度が充分でない場合、ホルダーがはずれたり破損して、やけど・車内や衣服を汚す原因。

必ず実施 市販の缶ホルダーは、据え置き型を使う。
ウインドーやエアコン吹出口に取りつける吊り下げ型で使うと、ホルダーがはずれて、やけど・車内や衣服を汚す原因。

注意

- 禁止** 飲み物の保温・保冷以外に使わない。
- 禁止** 倒れたり、落したり、ぶつけたり、強い衝撃を与えない。
破損、保温(保冷)効果の低下、サビ、塗装・印刷・メッキはがれ※、内容物がもれるおそれ。
※塗装・印刷・メッキなどの加工のある商品に限る
- 禁止** 分解・修理はしない。
故障や事故の原因。
- 禁止** 冷凍庫に入れない。
内容物がもれたり、破損のおそれ。
- 禁止** お茶の葉・果肉などは入れない。
目づまりし、もれるおそれ。
- 必ず実施** スポーツ飲料を入れた場合は、使用後、すぐにお手入れをする。
外出時など充分なお手入れができないときでも、すぐに本体内側をよく水ですすぐ。カビの発生やサビや穴があくなど故障の原因。
- 禁止** みそ汁、スープなど塩分を含んだものは入れない。
腐敗・変質・サビのおそれ。
- 禁止** かばんや袋に入れたまま放置しない。
周囲の環境(湿度・塩分)などにより、サビ・においの原因。
- 禁止** 本体外側が濡れている状態で、かばんなどに入れない。
サビ・におい・汚れの原因。
- 禁止** 塩素系漂白剤は使わない。
サビ、塗装・印刷・メッキはがれ※、穴があく原因。
※塗装・印刷・メッキなどの加工のある商品に限る
- 禁止** 本体外側の底に貼ってある保護シートは、絶対にはがさない。
はがすと、保温(保冷)効果が低下するおそれ。
- 禁止** 本体表面・樹脂部品・シールを、つめやかたいもので引っかいたり、こすったりしない。
傷ついたり、はがれたりする原因。
- 禁止** センをセットした状態で飲み物を入れない。
こぼれたり、転倒して、やけど・けが・傷や変形のおそれ。



- 必ず実施** 飲み口に残った飲み物はふきとる。
センを閉めたときにこぼれるおそれ。

First!

はじめて使うとき

●お手入れする

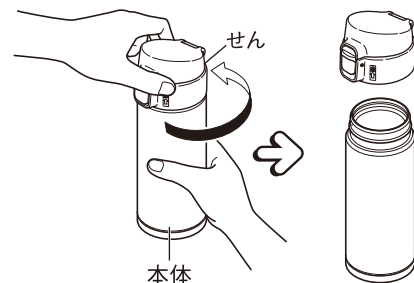
材料特有のにおいがする場合があります。
この場合は以下の手順でお手入れしてください。

- ① 飲み口が確実に固定されていることを確認する。→ P.9
- ② パッキンがついていることを確認する。→ P.8
- ③ 本体に熱湯を入れ、せん、ふたを確実に閉める。
→ P.5(③、④の項目)・6
- ④ 本体を持って、内側を充分にすすぐ動作を数回くり返す。
(強い振動は加えない。熱湯が吹き出しやけどのおそれ。)
- ⑤ お湯をすて、各部のお手入れをする。→ P.7



1

せんをはずす。



- せんにふたパッキン・飲み口・せんパッキンがついていることを確認する。
→ 表紙

2

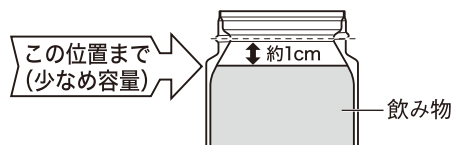
保温(保冷)効果を高めたいときは、少量の熱湯(冷水)を入れ、1～2分予熱(予冷)する。

- 予熱(予冷)後は、お湯(水)をすてる。

3

熱い(冷たい)飲み物を入れる。

- 飲み物は、入れすぎないように図の位置までにする。



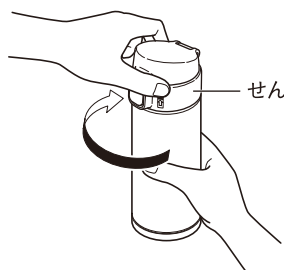
- 大きな氷を入れるときは、押し込まず、小さくしてから入れる。



4

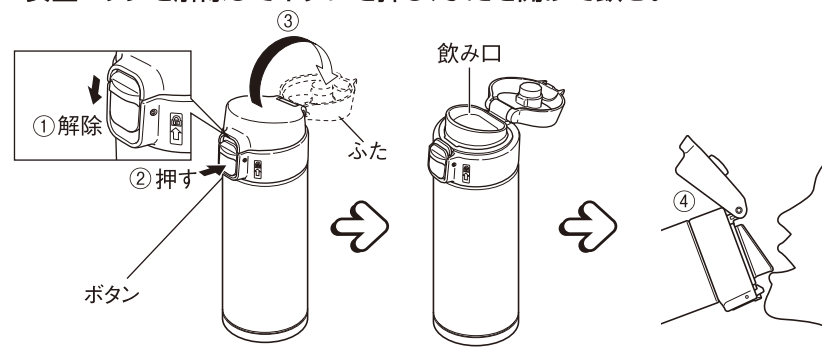
本体を立てた状態にして、せんを閉める。

- 飲み口が確実に固定されていることを確認する。→ P.9
- せんがまわらなくなる位置まで、確実に閉める。



5

安全ロックを解除してボタンを押し、ふたを開けて飲む。



ご注意

- 本体を傾けた状態でボタンを押さない。熱い飲み物が勢いよく出るおそれ。
- 本体に熱い飲み物を入れてせんを閉めた直後は、本体を傾けない。内容物がもれるおそれ。

6

飲み終わったら、本体を立てた状態にしてふたを閉め、安全ロックをロックする。

- 「カチッ」と音がして安全ロックが固定されるように、確実に閉める。

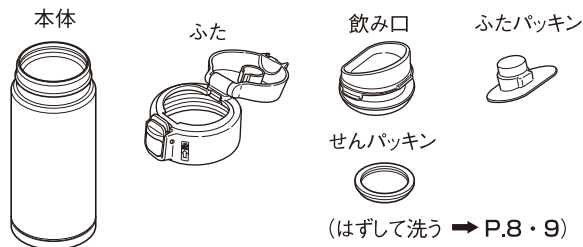
ご注意

- 持ち運ぶときは強い衝撃を与えない。安全ロックをロックしていても強い衝撃でふたが開くおそれ。
- かばんなどに入れるときは、本体を立てて入れる。横にすると、もれるおそれ。



お手入れのしかた

- ◆使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
- ◆洗剤は、台所用合成洗剤（食器用・調理器具用）を使う。
- ◆スポンジ・布はやわらかいものを使う。
- ◆においを防ぐために、こまめにお手入れする。



- ①洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジを使って洗い、水で充分にすすぐ。
- ②乾いた布で水分をふき取り、充分に乾燥させる。

ご注意

- 本体を流し洗いした後は、すぐに乾いた布で水分をふき取る。ふき取らないと「水滴」の跡が残ったり、サビ・他のものを汚す原因。
- 本体はつけおき洗いをしない。
- シンナー類・クレンザー・塩素系漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどは使わない。
- 食器洗い乾燥機や食器乾燥器などを使ったり、煮沸しない。
- 飲み口・パッキン類は必ず取りつける。→ P.8・9
- 長期間使わないときは、充分に汚れを落とし、乾燥させる。

パッキンににおいがついたとき

内容物によっては、そのにおいがパッキンに付着することがあります。その場合、パッキンを 30 分程度煮沸すると、においが少なくなりますが、それでも気になる場合は別売りのパッキンをお買い求めください。

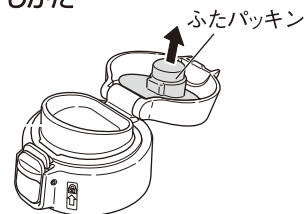
パッキンのはずしかた・つけかた

ご注意

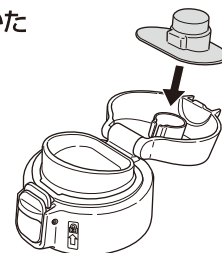
- パッキンの取り付け位置、方向をまちがえないようにする。内容物がもれるおそれ。

ふたパッキンのはずしかた・つけかた

■はずしかた



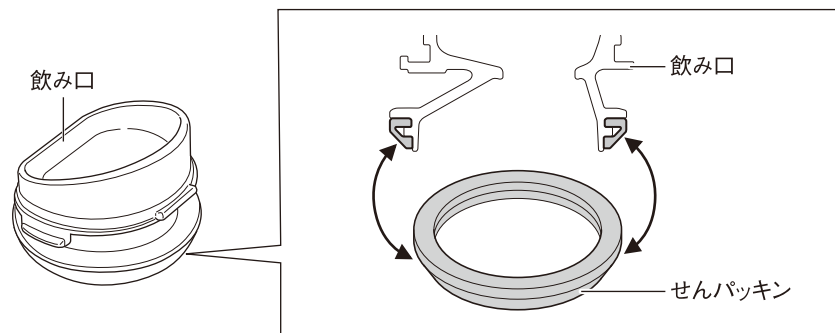
■つけかた



ふたパッキンをつまんでゆっくりはずす。

ふたパッキンの取り付け方向をまちがえないように奥まできっちりはめ込む。

せんパッキンのはずしかた・つけかた



はずすときは、パッキンのふちをつまみながらゆっくりはずす。

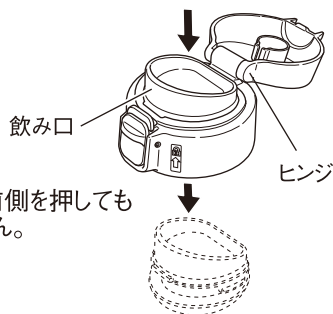
つけるときは、パッキンの取り付け位置や方向をまちがえないようにきっちりはめ込む。

飲み口のはずしかた・つけかた

■はずしかた

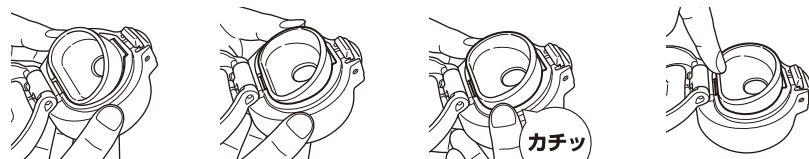
ヒンジ側を上からゆっくり押してはずします。

飲み口の
前側を押しても
はずれません。



■つけかた

飲み口の前側を先にはめ込んでから、ヒンジ側をきっちりはめ込んでください。正しく取り付けないと内容物がもれるおそれがあります。



- ① 飲み口の前側を下からはめ込む。
- ② 飲み口のヒンジ側を下から押し上げる。
- ③ 飲み口のヒンジ側をさらに強く下から押し上げる。
- ④ 飲み口のヒンジ側を上から押して飲み口がはずれなければセット完了。

本体内部に汚れが目立ってきたときは…

「サビのような赤い斑点」や「ガラガラしたもの」の場合

汚れは水の中に含まれているミネラル成分（カルシウム・マグネシウム・鉄分など）によるものです。これらの汚れには、スーパーや薬局で販売されているクエン酸のご使用をお勧めします。

- ① クエン酸（約10g）をぬるま湯でうすめて本体に入れる。
- ② 2～3時間後にやわらかいブラシできれいに洗い、水で充分にすすぐ。
- ③ 充分に乾燥させる。

「茶しぶ」や「コーヒー」の汚れなどの場合

汚れは飲み物などに含まれているタンニンや油脂成分によるものです。真空断熱ボトル用洗剤（別売品）のご使用をお勧めします。

お買い求めは「消耗品・別売品のお買い求めについて」を参照してください。→ 裏表紙

こんなとき

飲み物がもれる。

ボタンを押してもふたがあかない。

保温（保冷）が効いていない。

本体内部、パッキンや
せんから異臭がする。

本体を振ると「カシャ
カシャ」と音がする。

プラスチック部分に
線状や波状の箇所
がある。

ご確認くださいこと

ふた・飲み口・パッキンが確実にセットされていますか。

ふた・飲み口・パッキンが損傷していませんか。

パッキンの取り付け位置、方向がまちがっていませんか。

飲み口に飲み物が残っていませんか。

飲み物を入れすぎていませんか。

食器洗い乾燥機や食器乾燥器などを使ったり、煮沸したりしていませんか。

本体の内圧が下がり、ふたがあきにくい場合があります。その場合は、せんをゆるめて、閉め直してください。

落としたり、強い衝撃を与えたりしていませんか。

お手入れの際、本体の内側を強く押ししたり、金属たわし等を使用したりしていませんか。

飲み物の量が少なくありませんか。少ないと、充分な保温（保冷）効果が得られない場合があります。

寒冷地や周囲の温度が高い場合など、使用環境の厳しい状況では、充分な保温（保冷）効果が得られない場合があります。

はじめて使うときは、材料特有のにおいがする場合があります。

汚れが付着していたり、飲み物を長時間入れたままにしたりしていませんか。

水道水に含まれるカルキ臭が残る場合があります。

保温（保冷）効力を高めるために、本体内部に入れている金属箔の一部がこすれて出る音で性能に影響はなく、異常ではありません。

樹脂成形時に発生する跡で、使用上の品質に支障はありません。

直しかた

確実にセットする。→ P.8・9

損傷しているときは、お買い求めの上交換してください。→ 裏表紙

パッキンを正しくセットする。
→ P.8

飲み物を確実にふきとる。→ P.3

入れすぎないようにする。→ P.2・5

→ P.7

→ P.3

→ P.7

→ P.7

→ P.7

→ P.7

「はじめて使うとき」を参照してお手入れする。→ P.4

お手入れをする。→ P.7～9